

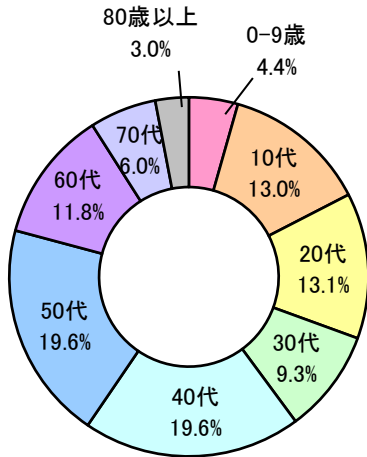
特別展「名作誕生—つながる日本美術」

アンケート集計結果

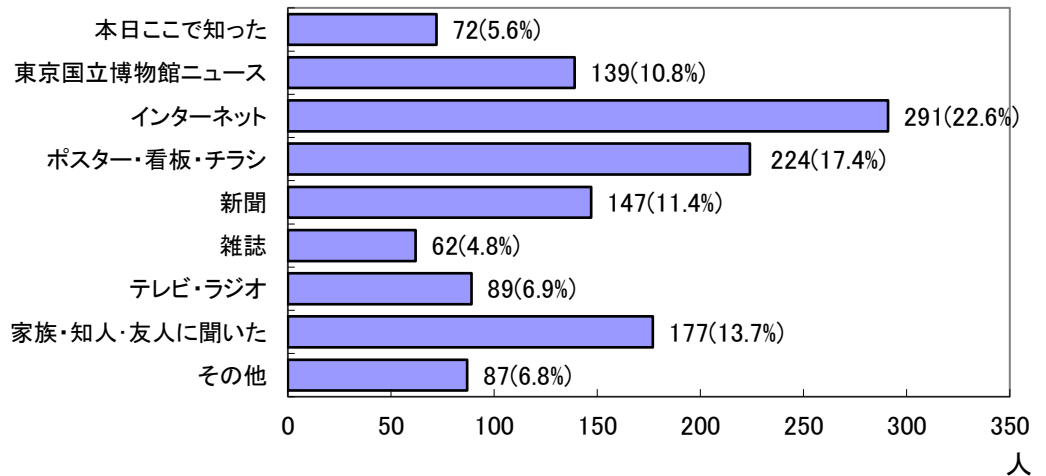
開催期間：平成30年4月13日（金）～平成30年5月27日（日）（40日間）

回答者数：815人（総入館者数：173,995人 アンケート回収率：0.47%）

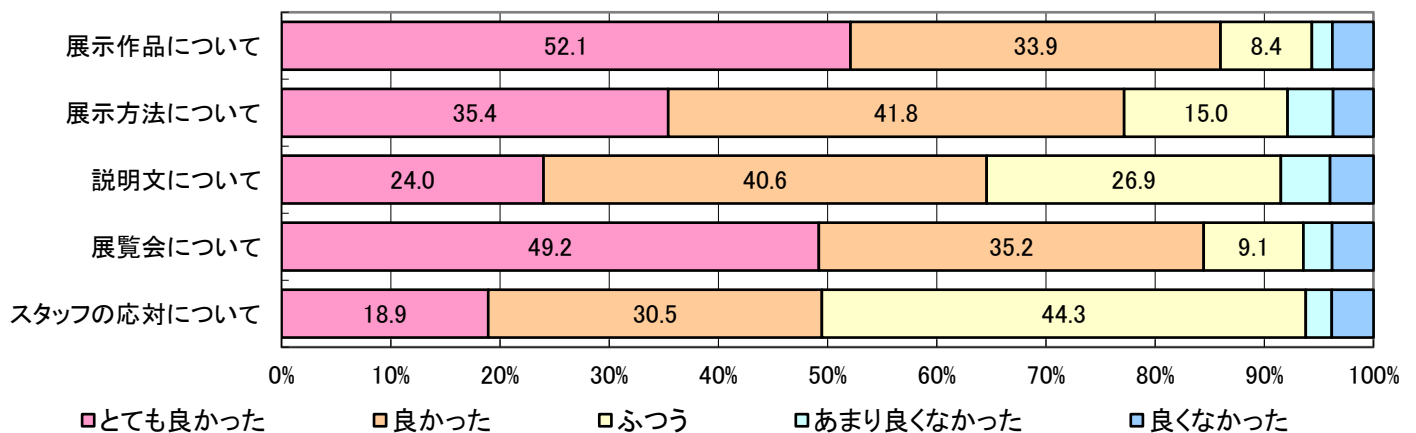
①アンケート回答年齢層



②認知経路（複数回答）



③展示に関する満足度



④主な意見・感想

- ・タイトル通りの「名作」揃いで見ごたえがあった。
- ・作品を見比べることで、作品単体を見るだけで分からなかったことに気づくことができて良かった。
- ・日本美術の流れがよく理解できる展覧会だった。
- ・音声ガイドのナレーションが聞きやすく、内容も理解がしやすかった。

注：上記数字は以下の通り

	あまり良くなかった	良くなかった
展示作品	1.9	3.8
展示方法	4.2	3.7
説明文	4.5	4.0
展覧会	2.6	3.8
スタッフの対応	2.4	3.8

(%)

日本美術史上には「名作」と呼ばれる作品が数多く存在します。時代を代表する作家によって作られた名作、海を越えて日本へもたらされた名作、古典に学び新時代の美意識で生まれ変わった名作など、「名作」はさまざまなドラマをもって誕生し、語り継がれ、作り継がれてきました。

こうした作品同士の影響関係や共通する背景に着目して、鑑真ゆかりの木彫や美しい普賢菩薩など仏教美術の白眉から、雪舟・若冲らの代表作、伊勢物語や源氏物語などの古典文学から生まれた工芸、さらには近代絵画まで、地域・時代を超えた名作の数々を12のテーマでご紹介した本展には17万人を超える方々にご覧いただきました。

アンケートの結果、展覧会に対して84.4%の方々から「とても良かった」「良かった」との好意的な意見をいただくことが出来ました。その一方で「導線の関係で絵巻を逆方向に見るのは如何なものか」、「『同じ部屋の中でテーマが唐突に変わるなど「つながり」がわかりにくい』などのご意見も寄せられました。

今後も来館者の皆様よりお寄せいただきましたご意見・ご感想を参考に、観覧環境のより一層の充実に努めて参ります。